

ハイドロスタッフ〈プラスチック製雨水貯留システム〉

茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 静岡

ポリプロピレン製ユニットとシート類を組み合わせ、雨水を地下に貯留または浸透させ雨水利用や雨水流出抑制施設を構築するシステムです。

●特長

1. コンパクト
空隙率 95%以上
2. 短工期
100トンなら1日で組立完了
3. T-25荷重まで対応
4. メンテナンス性
槽内堆砂抑制効果 90%以上 堆砂抑制システム(オプション)
5. 大型貯留槽対応
7万8千トンまで可能(10層 土被り0.5m条件)
6. レベル2の地震に対応
7. 設計自由度
形状自由/貯留槽 423mm(1段)から対応



技術評価認定

(公財)雨水貯留浸透技術協会
雨水技評 第19号-4

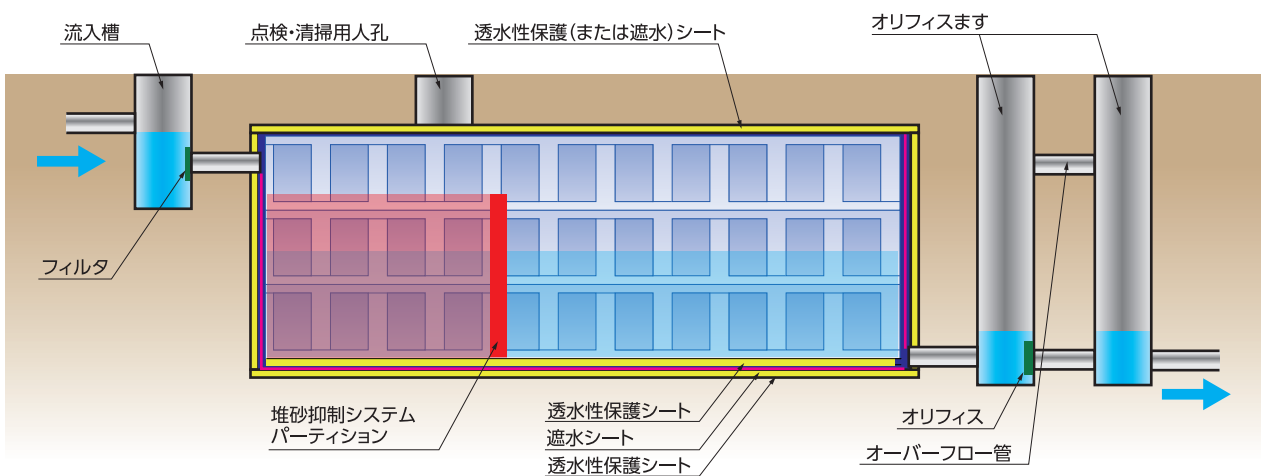
※本評価認定は城東リブロン株式会社に交付されたものです。

■システム概要

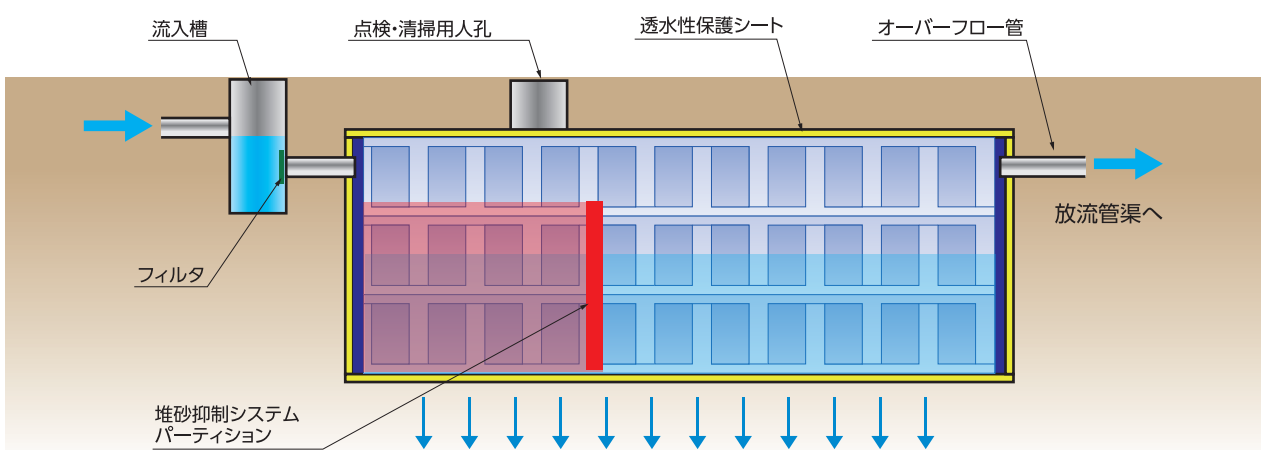
システム
概要

貯留

※利水用途の場合は、遮水シートは、2重を標準タイプとします。



浸透



Point1 堆砂抑制システム

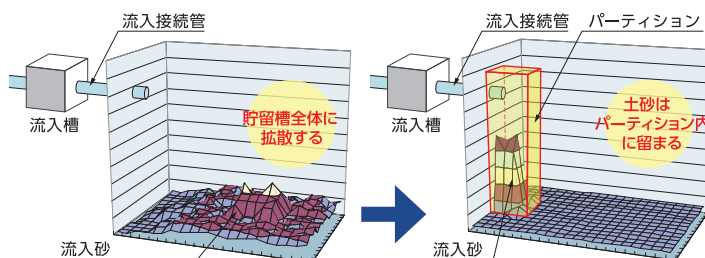
堆砂抑制システムとは、パーティションにより流入する土砂の拡散を防止するシステムです。パーティション内は清掃が可能のため長期にわたり貯留槽機能を維持できます。

- ①土砂を局所的に沈留させる。
- ②人が中に入り掃除ができる。
- ③堆砂抑制効果90%以上。

(社内試験結果)

「堆砂抑制システム」の考え方

貯留槽内に流入する雨水は、直前の流入槽の管理では流入槽で取りきれない粒径の小さな砂は除去できないのが一般的。本システムは、貯留槽内に侵入する流入槽で取りきれない粒径の小さな砂を一カ所に集め、槽内の清掃ができるように、開発されたシステムです。



Point2 優れた耐震性能。大型貯留槽にも対応。

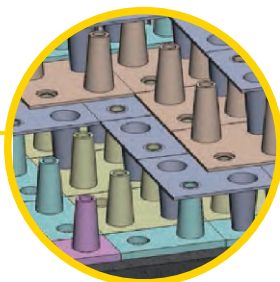
ハイドロスタッフは、継手レス&千鳥配置で貯留槽を組み立てていくため、せん断特性に優れており、レベル2相当の地震を想定した許容貯留槽幅※は、業界トップクラスを誇ります。

※「プラスチック製雨水地下貯留浸透技術マニュアル」耐震性能試験に準拠して算出

最大条件:土被り0.5m(普通土)

144m(200ヶ)×144m(200ヶ)

×3.960m(10段)×空隙率95%≒78,000トン



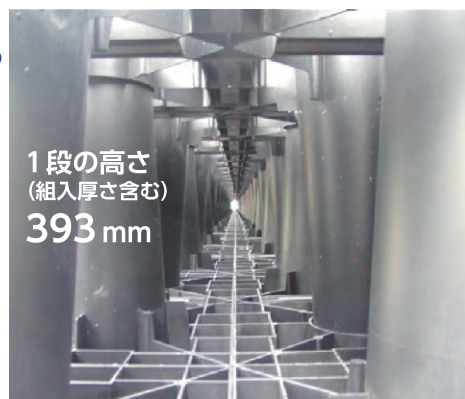
継手を使わない千鳥配置構造のため、地震時に発生するせん断変形に強い



各種試験を実施(写真は交番載荷試験)

Point3 貯留槽内部を目視可能。

ハイドロスタッフは、柱構造を採用しております。そのため、貯留槽内部の空間が、大きく取れます。雨水の流入開口が大きいので、流入管からの大量の水の流れ込みに対して、流入障害率が小さく飲み込みが良くなっています。



貯留槽内部の構造